

愛称「みゆきよりみちかふえ」

命名の児童に感謝状

福山平成大の認知症交流拠点



愛称が選ばれた御幸小1年の川上聡太君＝福山平成大

福山平成大学(福山市御幸町上岩成)で昨年10月から隔月で開かれている「認知症カフェ」の愛称が決まった。地元の御幸小1年、川上聡太君(7)が考えた名前、大学のある地名を付けた「みゆきよりみちかふえ」。先月、川上君に感謝状が贈られた。

同小に愛称の応募を呼びかけたところ、227人の児童から437点が寄せられた。川上君はデイサービス職員でもある母の和子さんから認知症の説明を聞き、「散歩の途中に寄れるような場所に」と名前が浮かんだという。

平成大の認知症カフェは、認知症を理解して接し方を学ぶ認知症サポーターの養成講座(全1時間)を

メインに、医療や介護、福祉の専門職が相談に応じるほか、認知症の当事者や介護者間の情報交換の場も紹介している。無料。次回は4月15日午後1時から。問い合わせは事務局(084・972・5011 内線2201)へ。(広津興一)